

おごおり議会だより

No.202

令和7年5月号

桜の下で

- P2～7 議会の動き
- P8～9 こども議会だより
- P10～17 市政を問う・一般質問14人
- P18～19 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案件
- P20 6月定例会の会期日程(予定)、編集後記

発行責任 福岡県小郡市議会

令和7年度当初予算(一般会計) 骨格予算の規模

267億1,500万円

前年度比22億5,600万円の増(+9.2%)

賛成多数可決

令和7年度の主な予算(重点事業)

▶ 治水・災害対策

1億5,000万円

排水ポンプ施設整備事業

大崎地区の浸水被害軽減のため、
内水を宝満川へ排水するポンプ施設の設置



▶ ハラスメント対策

122万円

ハラスメント対策業務

心身ともに健康に働くことができる職場の確立に向け、
第三者相談窓口の設置



▶ 学校教育の充実

3,640万円

水泳授業 民間委託事業

3億9,184万円

GIGAスクールタブレット端末更新事業



▶ カーボンニュートラル推進

1,500万円

小学校照明LED化改修事業

市内小学校8校の校舎内のすべての
照明LED化に向けた実施設計



予算審査特別委員会を設置し、
3月3日、4日、5日、6日の
4日間審査しました。
委員会での議論をふまえ、
次の2点について意見しました。



予算審査特別委員会からの意見

1 青少年人材育成事業について

小郡寺子屋「志学舎」事業については、令和7年度から自主運営に変わる。参加している他の自治体の負担額や財源について公平公正に進めること。

また、補助金交付規則を整備すべきとの意見を踏まえ対応すること。



2 青少年育成市民会議について

組織体制のあり方については、内部で何が課題か検討を深めていただきたい。

新しくできる事業もあれば、なくなる事業もあってしかるべきであろう。

今後方向性などが決まり次第、議会と情報を共有すること。



なお、今回の審査において、質疑に対する答弁が曖昧で
進行に支障をきたす場面が度々見受けられました。
今後このようなことがないように求めます。





保育協会との意見交換会

保健福祉常任委員会において、令和7年2月4日に市内保育園2か所の現地視察と保育協会との意見交換会を行いました。

「味坂保育園」「のびっこ園」を現地視察

「のびっこ園」はこれまで0～2歳児までの保育を行ってきましたが、本年4月から5歳児まで保育する認可保育園となりました。

新築された園舎の見学を行いました。明るい2階建ての園舎で、子どもの発達に合わせたデザインでした。

また、国籍や障がいの有無に関係なく、多様性を尊重し、インクルーシブ保育を実践されていました。



「味坂保育園」では旧園舎の一部を残して大幅に新増築された園舎を見学しました。木のぬくもりがある、子どもたちに優しいつくりでした。また、「サークルタイム」に参加しました。子どもたちが輪になって対話することで自己表現やコミュニケーション能力を育んでいることを実感できました。

保育協会の取組報告

保育協会が保育士不足対策のためにしている就職ガイダンスや実習生受け入れなどの報告を受けた後、インクルーシブ保育についてのグループトークを行いました。多くの意見を聞くことができ、情報共有をしつかりと行うことができました。



議員 研修

議員に求められる 「法令・条例」を読む力

総務文教常任委員会企画



市の各部・課から地域課題を解決するための様々な条例の制定・改正の議案が議会に提案されます。私たち議員は、これらの議案を、下記の三つの役割から、確実に点検し、議決をする役割があります。

そのためには「法令・条例を読む力」を身につけることが大切であり、全議員が研修で学びました。

三つの役割

- ①住民の意思（意向）を把握し、反映する機能（住民代表機能）
- ②執行機関の活動（施策）を監視（チェック）する機能（監視機能）
- ③政策を立案（提案）する機能（政策立案機能）

著作権の学び

「SNSや議会だより」など 使用注意点

- ①公的機関の文章も使用時は確認が必要
- ②引用の範囲や出典の明示が必要
- ③無料の写真やイラストも許可が必要な場合がある。



▲第一法規株式会社が作成した資料からの抜粋

小郡市議会にタブレット端末導入

小郡市議会では、タブレット端末を活用した議会運営を進めています。

令和7年6月議会より、さらなる効率化と環境負荷の軽減を目指し
完全ペーパーレス化を実施します。

導 入 目 的

- 印刷代・用紙代・人件費等の経費削減
- CO2排出量の削減
- 効果的な議会活動

令和6年8月19日 第1回タブレット端末操作研修

多くの質問
がなされ、
有意義な研
修となりました



タブレット端末
操作初心者も
います

その後、

第2回(11月18日)
第3回(2月17日)
と研修を実施し、
さらに試行期間を経て、
完全ペーパーレス化へ！



小郡市議会ハラスメント等防止に関する指針を策定しました

3月議会で「小郡市長等、職員及び議員のハラスメント防止等に関する条例」が上程され、市議会として全会一致で可決しました。

条例の施行に合わせ、小郡市議会としても、ハラスメント防止及び根絶に努め、信頼される議会の実現を目指すために「**小郡市議会ハラスメント等防止に関する指針**」を定めました。



小郡市議会として、

- ①ハラスメントの理解を深めます。
- ②ハラスメント事案が発生した場合には市の条例に準じて対処します。



ハラスメントは絶対に許してはいけません。

ハラスメント防止の取組を積極的に推進することで、議員、職員の誰もが働きやすい職場をつくり、誰もがその持てる能力を発揮し、議論しやすい職場づくりを目指します。



議員から職員へのハラスメントが生じた場合

- ①「小郡市長等、職員及び議員のハラスメント防止等に関する条例」に基づいて、事実関係の調査・確認を行います。
(相談者の意思を尊重して対応します。)
- ②事案を議会内で周知します。
- ③当該ハラスメントを行った議員の氏名の公表その他の必要な措置を講じます。



親子で学ぶまちのこと

～こどもに広がる知る機会～

市議会がどんなことを話し合っているのか、子どもたちにも分かりやすく伝えるための「こども議会だより」を作りました。

ぜひ、親子でご覧いただき、市議会やまちのことを考えるきっかけにいただければ嬉しいです。



市議会議員ってどんな仕事なの？



市議会議員

だれもが暮らしやすいまちになるために18人の議員が市民の声を聞いたり話し合ったりしています。

議員と市長

市長は、市の事業や予算（お金の使い方）を提案して、それを議員が審査（チェック）します。

市民の声をまとめて、まちがよくなるために議会で質問します。これを「一般質問」といいます。

当选した議員は、まちが良くなるために市民の意見や要望、困りごとなどを聞き調査をします。

議員は、4年に1回の選挙で18歳以上の選挙権をもった市民の投票によって選ばれます。

審査や調査、一般質問をしながら、まちを良くしていく仕事です。

水泳の授業が変わるよ

これから小学校のプールの授業は、スイミングスクールで行うことになったよ。みんなが安心して泳げるように議会で決まりました。





小学生の議場見学！

1月17日、三国小学校6年生のみなさんが市議会の議場を見学しました。
議会では、どんなことを話し合っているのかなどについて学びました。

市議会ってどんなところ？

市議会は、みんなが住みやすいまちにするために大切なことを決める場所です。

議員が話し合い、市長や市役所の人たちと一緒にまちをよくするためのルールや予算を考えます。

市議会の仕事を知ってもらうことができ、とてもうれしかったです。

将来、まちをより良くするために、みんなのアイデアが活かされる日があるかもしれません！

またぜひ、市議会に来てくださいね！

★
市議会より
お礼のことば



市政を問う！

一般質問

3月定例会一般質問通告一覧表

個人質問												代表質問		
3	2	1	1	2	1	1	2	1	3	2	1	1	1	2
おくやみ窓口の設置について	災害時の情報伝達について	流域治水について	小郡市子ども計画について	脱炭素社会に向けたLED化推進と市民への支援策について	多様性を尊重した地域に開かれた学びの場の必要性について	小郡市人口の推移について	個人情報に関わる人権侵害の防止について	プラスチックごみ問題の解決に向けた小郡市の取り組みについて	安心・安全なまちのために市ができることについて	ヤングケアラー対策について	市民からの意見聴取について	大板井地区の開発に伴う学校施設や通学路の影響について	小郡市立学校給食センターの建設について	ふるさと納税支援委託事業について
田中 雅光	小坪 輝美	川野 悦子	小野 壽義	新原 善信	佐藤 源	深川 博英	佐々木益雄	甲斐田典彦	黒岩 重彦	高木 良郎	橋間 順平	後藤 理恵	大場 美紀	おごり創志会代表

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。
会議録については、令和7年6月上旬頃より議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館で
ご覧いただけます。



おごおり創志会
大場 美紀



議員
新体育館建設費が
増加した要因は

部長 増加の要因は、まず大きく1点、人件費や建設資材等の物価の高騰。ほか、

イベントの拠点、競技者にも環境にも優しい施設づくり、防災拠点、この3点に関するものを盛り込んだ。

省エネ効果の高い設備を導入することで、メンテナンスや更新時に多額の費用がかかるのではないかな。

部長 導入費用は高額だが、エネルギーコストは50%以上削減、維持管理費も低減されると認識している。

コスト削減のために、どのような視点で見直していくのか。

部長 設備や材料には標準的なグレードや汎用品を活用し、専門性の高い工法は避けることで、事業費の抑制を図っていく。

移動観覧席や音響の管理を専門業者へ委託すると委託費がかかり、市民が使用する際の費用も上がるのでは

ないか。

部長 専門業者への委託は考えておらず、基本的には市民が自ら操作できる仕組みを構築する。

防災拠点としての機能が多岐にわたっているが、いざという時にすぐ判断がつくようなマニュアルなどは予定しているのか。

部長 地域防災計画を基に、



新体育館構想図



みらいの会
後藤 理恵



議員
財政改革を図り、持続
可能な行財政運営を

市長 歳入に見合った歳出になるよう、サンセット方式による既存の事業の見直し

や、既に様々な先行的な取組を進めているが、DX化をはじめ広域化・集約化などの効率的な行政運営の取組を進めて行く。

100億円を超える公共施設の建設に伴う公債費の増加によって、財政の硬直化が進み、市民サービスへの影響はないか。

副市長 国の予算を見ても交付税等は増える見通しでいる。

市税収入の関係では固定資産税は伸びていくだろう。市民税も所得にリンクして伸びていく見込みなので、財政負担によって緊急的に対策するところまで落ち込まないと見込んでおり、順調に事業を進めて行けると考えている。

団体等への補助金、交付金について不透明な部分が見受けられる。市はどのように考えているか。

常務 団体に対する補助金の考え方では、まず事業補助金について内容を精査し、一定見直しができた。また補助金を受けている団体の事務局で、職員が会計責任者のように自分で執行することは今のところ認めていない。三つ目は運営補助金の在り方についてはきちんと是正する方向で取組もうと考えている。

税金使途の見える化は。

部長 市民に情報提供や共有することは市政としてあるべき姿で、在り方を考える。





自由の風
橋間 順平



議員 大型公共施設建設の
財政負担に関しては

市長 公共施設建設費は、一
般財源、国庫補助や交付税
など地方債を活用する。

市民税と固定資産税の見通
しを問う。

部長 人口減少、少子高齢化
で市民税は、減少傾向にな
る。固定資産税は、企業誘
致に伴い増加傾向になる。

義務的経費の増加について
問う。

部長 扶助費や人件費は、高
齢化や物価賃金上昇などを
反映して増加になる。

コストコの経済効果は。

部長 まちづくりの推進、市
内事業者の相乗効果、雇用
創出、税収増、知名度向上、
市全体の活性化になる。

公共施設建設費の返済額は。

部長 概算事業費ベースで、
年利2%で4億円が建設時
にかかる償還額である。

給食センター建設費の令和

8年度からの支払いは。

部長 令和8年度は14億22
82万円、令和9年度から
1億9100万円になる。

新体育館建設費が18億29
00万円増額した説明を。

部長 18億2900万円の増
額は、物価指数約25%上昇
し、施設建設費と壁面収納
型の移動観覧席、大型スク
リーン、音響映像設備、壁

国の措置費の現状は。

部長 現在1人あたり、年間
294万9千円である。

小都市の措置費は。

部長 年間約250万円だ。

運営の改善に必要なのは、
措置費の引上げであり、小
都市だけでなく周りの市町
村の協力と、国・県に対し
ての要望が必要では。



自由の風
高木 良郎



議員 池月苑の現状と課題
について問う

市長 高齢者福祉施設による
セーフティネットの役割
を持ち今後も重要になる。

池月苑の入所者数を問う。

部長 定員が60名で市内29名、
市外28名の入所者だ。

運営のための収入源は。

高齢者福祉は行政が担うべ
きものであり、市が池月苑
に対して物心両面で支援し
た事を確認したい。

部長 議員が言われた事は、
その通りである。

部長 入所者に係る市からの
老人保護措置費である。

市外からの入所者の経費は。

部長 他の市町村から小都市
と同じ措置費をもらう。

池月苑の課題を問う。

部長 入所者の確保・事業収
入が措置費のみである事、
施設の老朽化と負担増での
職員の確保が困難である。



人間らしく生きる事が出来る池月苑を
続けて欲しい。



歳入に見合った歳出を

市長 他の自治体と関係担当
と通じながらやるべき所、
取り組みを考えてみたい。

放射空調、太陽光発電、自
動制御設備など、設備設置
費が要因である。



みらいの会
黒岩 重彦



議員 高齢者支援について
問う

市長 高齢者のみの世帯や高齢者の独り暮らしが増加する中、高齢者の支援におい

ては、自助・共助・公助による多面的な取組で様々な課題解決につなげることが必要と考えている。

買物支援のやり方や行政からの支援は。

部長 地域ごとの課題に対応した支援の形を作ることが理想であり、市としては情報提供や協議を行いながら、それぞれの地域での取り組みを支援していきたい。

スーパーからの送迎バスによる買物支援を他の校区に

部長 このような民間サービスを大切にし、こういった事例を紹介しながら実現に向けて進めていきたい。

買物支援を実施するまでのステップは。

部長 最初に、その地域での現状や解決したい課題を聴いて、地域で実施したい事

業を地域主導でプランを組み立てて、協力者の確保や費用負担などについて協議し、市と地域で役割分担して対応していきたい。

サロンやカフェなどの高齢者の居場所づくりは。

部長 サロンやカフェについては、高齢者の社会参加や閉じこもりの防止、生きがいづくり、独居高齢者の安否確認など多くの効果が見

込めるため、地域などに協力を頂きながら、充実していきたい。



超高齢化社会、買物支援などの新たな対応が必要！



公明党
甲斐田 典彦



議員 骨粗しょう症の
定期検診の実施は

市長 骨粗しょう症検診は令和8年度に向けて実施をする準備を進める。

骨粗しょう症防止の現在の取組みは。

部長 出前講座や健康クッキングを実施、広報紙でも知らせている。

骨粗しょう症検診はどのような方法で、また対象者はどのように検討しているか。

部長 問診と骨密度の検査を組み合わせて実施し、40歳から70歳までで5歳の節目

ごこの女性が対象。

男性も対象にできないか。

部長 来年度、男性の検診も検討する。

議員 自転車ヘルメットの購入支援は

市長 福岡県高校生等奨学給付金の周知と県内自治体の動向を見て検討する。

昨年9月の小郡警察署が調

査した期間で高校生の登下校時のヘルメット着用は0人。市のヘルメット着用促進に向けた取組みは。

部長 交通安全県民運動期間に啓発冊子、チラシを配布とホームページ・SNSで周知啓発に取り組んでいる。

登下校時以外にも着用したくなる中学生のヘルメットをデザインヘルメットに変えてできないか。

部長 予算面で課題がある。安全確保の観点から生徒が意識を高めるよう指導する。





自由の風
佐々木益雄



議員
「大谷グローブ」の
使用について問う

警長 大谷選手の思いを踏まえ、児童会や学校運営協議会で協議、工夫するように

進めている。又将来の夢や目標を持つ大切さを伝える等の取組みを進めている。

ガラスケースに展示、会議室や倉庫にしまっているとの報告もあるが状況は。

教養長 市内では、ケースの中で保管や展示の状況はない。

グローブのタグや同封の手紙が一部の大人により、転売サイトに出品される事件

が起きているが状況は。

警長 適切に保管されており、その様な事案は発生しておらず、今後も各学校で適切な管理に務めていく。

議員
下水道整備事業に
ついて問う

市長 令和7年度完成目標にしていたが、資材や人件費の高騰により整備計画に支障が生じ、令和9年度を新たな完成目標に取り組む。

残された区域住民への説明や周知方法について問う。

部長 区長へ相談し指示を仰ぎ回覧等で周知を行う。

八潮市の陥没事故を受け政府は調査費を百億円つけたが、市内の腐食調査や点検方法、その結果劣化状況は。

部長 汚水幹線のカメラ点検を実施している三沢で、異常が確認された。硫化水素

な意見が出たか。

部長 事業者に対するサポート体制の充実強化を求める意見が非常に多く出された。

サポート体制に関して何か具体的に対応されたか。

部長 中間事業者の小郡市内に拠点を設置していただき、返礼品事業者を定期的に訪問するように、職員を2名配置して、サポートできる

による腐食の可能性が強く、発生源調査と空洞部を埋める復旧作業を行っていく。



全国20,000校に寄贈されたグローブ

体制を整えていただいた。



みらいの会
深川 博英



議員
給食センター建設の
地元説明は

市長 1月21日に大原小学校運営協議会、3月5日に大原小学校PTA役員会に工

事のスケジュール、隣接する大原小の遊具の取扱いなど説明をしている。今後、地元区長会や建設地近隣の住民に対しても説明を行っていく。

工事に伴う重機が入る時期は。

部長 春休み期間に実施する解体については、重機を使用することとなる。

工事車両の出入口、資材等を搬入するのはどこからか。

部長 小学校西側のグラウンドを南北に幅約9メートルの工事車両通路を確保する。

議員
ふるさと納税令和6
年度寄附見込み額は

部長 現時点で3億2000万円程度で見込んでいる。

返礼品について事業者と意見交換会が行われどのような





おごおり創志会
佐藤 源



議員 安心安全なまちの為に市ができることは

市長 特殊詐欺による被害が拡大しており、警察署と市では、市民への情報発信を

強化して啓発を行い、被害の防止に取り組んでいる。

自治会に対する防犯カメラの設置補助金を検討する考えはあるのか。

部長 今の時点では検討していない。

自治会内で防犯カメラの責任者、設置場所などの協議がまとまれば、補助金が出るかどうかの相談には対応

するのか。

部長 補助金は制度なので、どういつ制度を構築するのか考え、併せて検討する。

議員 市民の意見集約に対する考え方を問う

市長 市民と向き合い、対話しながらまちづくりを進めてきた。計画や条例などは公募委員としての参画や、必要に応じてパブリックコ

メントなどを実施している。

パブリックコメントの結果がHP上でバラバラに掲載されているがどう思うか。

部長 構成のあり方を今一度見直す必要があると感じる。

プロポーザルの審査結果の公表については各課に任せ

副長 公表の仕方もちんと

速やかに取り組んでいきたい。



ガイドラインを決める形で整理していく。



新原 善信



議員 誹謗中傷等の人権侵害防止をどうするか

市長 人権教育やインターネットリテラシーの啓発、相談支援体制構築に努め、

人権尊重の社会実現に向け、施策を実施していく。

どんな人権侵害が起きているか。

部長 戸籍謄本写しの不正取得、ビラ、うわさなどによるプライバシー暴露などの人権侵害が発生している。

学校で情報リテラシー教育はどのようになされているか。

部長 情報を正しく判断し、発信の基本原則を意識することが大切で、自分を大事にするとともに、相手を大事にする人権教育の視点が大切だ。

議員 プラスチックごみ問題解決の対策は

市長 プラスチックごみの排出抑制と資源循環への取組を進め、分別収集の取組を進める。

小郡市のプラスチックごみの割合はどれくらいか。

部長 可燃ごみ22・4%、不燃ごみ29・39%と高い。

昨年行った分別回収実証実験の結果は。

部長 2自治会で実施し、回収した91%を再資源化、問題なくできた。今後、本格実施に向け周知啓発、規模拡大した実証実験を行い、



家庭のプラスチックごみ



おごおり創志会
小野 壽義



議員
市の人口推移は

市長 将来的には人口減少も見込まれ、都市計画法の活用や地区計画の区域指定で

戸建住宅、また企業誘致、子育て教育環境など取り組みを進め、住宅等の開発申請件数が政令指定都市や中核都市を除き、県内一番となっている。

筑後小郡IC、小郡鳥栖南IC周辺に雇用確保できる企業誘致は人口推移に大きく関係するが、誘致計画は、

部長 インター周辺まちづくり構想で、産業系の土地利

用を進め多くの雇用を生む企業誘致を図っていく。

西鉄端間駅を利用した、住宅地域計画は。

部長 市街化区域の見直しの際、一部を市街化区域に編入して、住宅開発などが行われている。

市街化編入しなくても地区計画が立てられるが、現在地区計画の申請地域は。

部長 協議を進めているのは花立地区と今朝丸地区の2地区である。

道路等の環境整備も移住の重要ポイントではないか。

部長 道路パトロールや交通安全施設の新設や改修、修繕に取り組んでいる。

2023年人口移動状況では95名の転入超過だが、東京圏への転出が多い理由は。

部長 20代前半の転出超過が顕著で就学や就職が大きな要因となっている。



市内の戸建住宅街



おごおり創志会
川野 悦子



議員
多様性を尊重した学びの場の必要性を問う

市長 市として、子どもが健康やかに育つ環境づくりに取り組んでいきたい。

多様な生徒の学びを支えるための環境整備の必要性和取組みについての考えは。

教育長 子どもたちが安心して学び、希望する進路、実現したい目標や夢を叶えるため多様な機会を創出しながら進めていかなければならない。

学校外での居場所づくりの必要性和取組みの考えは。

副長 学校教育と社会教育と子育て支援が一体となって地域ぐるみで、子どもたちをしつかり漏れなく育てていく環境づくりに取り組んでいきたい。

議員 LED照明の買換え補助を導入できるか

部長 今のところ実施予定はないが、照明器具やLED照明の買換えに関する支援も含めて、地球温暖化対策に有効な補助事業について

情報収集に努めていきたい。ゼロカーボンアクション30の周知啓発を行う考えは。

部長 市民や事業者に対し周知啓発、情報発信にしっかりと取り組んでいきたい。

市のホームページや公式ラインなどで積極的に発信を。

部長 市の広報紙、ホームページ、SNSまたは公共



多様性を尊重した学びの場の創出を！

施設でのチラシの配架等、様々な媒体を活用して情報発信を行う。

市長 小郡中学校グラウンドと七夕地域運動広場にオンサイト貯留施設の工事を

議員 流域治水について市の考えを問う

公明党
田中 雅光



市長 子どもを権利の主体として尊重し、子どもの最善の利益を守ることを方針と

議員 小郡市子ども計画について問う

日本共産党
小坪 輝美



している。子ども一人ひとりが健やかに育つことがで
きる環境を整えることを大
切にし、全ての子ども・若
者の健やかな育ちと幸せな
暮らしの実現に向けて、地
域社会全体で子ども・子育
てに関わっていくことを基
本目標にしながら、小郡市
モデルの取り組みを進めて
いく。

来年度制定される子ども権
利条例の必要性の理解は。

行っている。また、大崎付
近に市独自の排水ポンプ施
設を導入し、今年の出水期
から稼働予定だ。

流域市町村との連携が効果
的だと思うが、連携によっ
て進んだものはあるか。

部長 堰の事前転倒や田んぼ
ダムの実績があるが、まだ
協議継続が必要で、粘り強
く実現に向け努力をしたい。

部長 子ども権利条約を踏ま
え、小郡市の子どもの施策の
基本理念や考え方を示した
理念的な柱になるもの。

性的マイノリティの子ども
の支援の理解は。

部長 性的違和感を覚えるの
は、就学前で56.6%。保
育所・幼稚園の段階から性
の多様性についての理解を
深め、当事者への支援・相
談体制が必要である。どの

築地川樋門にポンプを設置
できないか。

部長 宝満川促進期成会の要
望書のひとつに、排水機場
の新設を入れ提出している。

議員 災害時の情報伝達に
ついて問う

市長 重要な情報は防災行政
無線や緊急速報メールによ
る情報伝達に加え、市の
ホームページやSNS、災
害情報等発信システムなど、

ような取り組みができるか
今後検討する。

子どもの権利擁護としての、
子どもアドボカシーについ
て理解は。

部長 子どもアドボカシーと
は、子どもの声を聴き、子
どもが意見を表明する支援
を行う事。今後調査研究を
していく。

計画の周知について問う。

手段の多様化・多重化を
図っている。

以前要望したハザードマッ
プの見直しは進んでいるか。

部長 令和6年度と令和7年
度にかけて作成している。
令和7年度末に完成後、速
やかに市ホームページ等で
公開する。

災害専用ホームページは検
討したか。

部長 子ども・若者に一番わ
かりやすい形で内容を伝え
ていく。



部長 ホームページを見直す
時期で、専用ホストを別に
作れないか検討したい。



2021年築地川水門の状況

令和7年3月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第1号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和6年度小郡市一般会計補正予算(第7号))	承 認
第1号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合理約の変更について	可 決
第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第3号	小郡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第5号	小郡市ハラスメント対策検討委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第6号	小郡市公共施設等総合管理計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第7号	小郡市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第8号	小郡市地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第9号	小郡市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第10号	小郡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第11号	小郡市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第12号	小郡市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
第13号	行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可 決
第14号	令和6年度小郡市一般会計補正予算(第8号)の承認について	可 決
第15号	令和6年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の承認について	可 決
第16号	令和6年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)の承認について	可 決
第17号	市道の認定、廃止及び路線変更について	可 決
第18号	令和7年度小郡市一般会計予算の承認について	可 決
第19号	令和7年度小郡市国民健康保険事業特別会計予算の承認について	可 決
第20号	令和7年度小郡市後期高齢者医療特別会計予算の承認について	可 決
第21号	令和7年度小郡市介護保険事業特別会計予算の承認について	可 決
第22号	令和7年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の承認について	可 決
第23号	令和7年度小郡市工業団地整備事業特別会計予算の承認について	可 決
第24号	令和7年度小郡市下水道事業会計予算の承認について	可 決

第25号	小郡市長等、職員及び議員のハラスメント防止等に関する条例の制定について	可 決
同意第1号	公平委員会委員の選任について	同 意
同意第2号	公平委員会委員の選任について	同 意
同意第3号	公平委員会委員の選任について	同 意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
議員提出第1号	小郡市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	可 決
議員提出第2号	小郡市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
選挙	選挙管理委員及び補充員の選挙について	当 選

【賛否が分かれた案件】

●議長（井上勝彦）は表決に参加しません。

議 員 名 案 件	川野悦子	内山伸博	黒岩重彦	甲斐田典彦	橋間順平	佐藤源	深川博英	小坪輝美	小野壽義	高木良郎	大場美紀	立山稔	後藤理恵	佐々木益雄	田中雅光	山田忠	新原善信
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

（賛成…○、反対…×、欠席…欠）

議会を傍聴して 皆様の声を聞かせてください

◆小郡市議会では本会議の他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を傍聴することが出来ます。

◆定例会では、市政全般にわたる事業の執行状況や将来の方針等を市長等に問いただす議員の質問（一般質問）も行われます。

各議員の質問開始時間をホームページに掲載しております。あくまで目安の時間ですので、多少前後する可能性があります。

◆定例会は、年4回、3・6・9・12月に開催されます。

◆議会を傍聴にお越しの皆様には、感想用紙のご提出をお願いしております。

◆また、小郡市議会のホームページから、本会議（過去5年間）及び常任委員会の生中継・録画映像がご覧いただけます。



小郡市議会会議録が
ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。
なお、令和7年3月定例会の会議録は、令和7年6月上旬頃よりご覧いただける予定です。

おごおり議会だより
表紙写真を
募集します！

開かれた市議会を目指し、より市民に親しめる市議会だよりにするために、年4回（5月・8月・11月・2月）発行の「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。みなさまのご応募をお待ちしています。

6月定例会の会期日程（予定）

6月9日(月)	本会議（議案上程）
6月11日(水)	本会議（質疑）
6月16日(月)	総務文教常任委員会
6月17日(火)	保健福祉常任委員会
6月18日(水)	都市経済常任委員会
6月23日(月)	本会議（一般質問）
6月24日(火)	本会議（一般質問）
6月25日(水)	本会議 （一般質問（予備日））
6月27日(金)	本会議 （委員長報告と質疑 討論・採決）

令和7年度から常任委員会 「会議録」がホームページに掲載



- 会議録検索システムをリニューアルしました。
- 令和7年3月までは「本議会会議録」のみホームページに掲載していましたが令和7年4月15日より各常任委員会の会議録も見ることができるようになりました。

編集後記

3月議会で令和7年度の予算が決定しました。限りある財源において、市民の皆さまが望まれるサービスの為に、議会ですっかり審査しました。昨年は6月に小郡鳥栖南スマートインターチェンジの開通、11月にコストコ小郡倉庫店がオープンしました。

今後は新体育館、学校給食センターなどの建設、筑後小郡インターチェンジ周辺を中心としたまちづくりが進みます。

これからも、住みやすいまちづくりの実現に向けて議会の役割をしっかりと果たしてまいります。

（甲斐田 典彦）

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 源
副委員長 川野 悦子
委員 内山 伸博
委員 甲斐田 典彦
委員 立山 忠
委員 山田 忠